

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)上新電機 長岡神足店

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
◎ 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.40			3.2
1 音環境				3.8	0.15		-	3.8
1.1 騒音				5.0	0.40		-	
1 室内騒音レベル		空調室外機等の設置位置を配慮		5.0	1.00		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能							-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	
1.3 吸音				3.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.6	0.35		-	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.50		-	
3 外皮性能				3.0	0.17		-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-	
1 昼光率							-	
2 方位別開口							-	
3 昼光利用設備				3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策							-	
2 昼光制御							-	
3.3 照度							-	
3.4 照明制御				3.0	0.50		-	
4 空気質環境				4.0	0.25		-	4.0
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆製品の使用		5.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.50		-	
2 自然換気性能							-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50		-	
4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能					0.30		-	3.4
1 機能性				3.7	0.40		-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性							-	
2 高度情報通信設備対応							-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		天井高の確保(CH=3980)		5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-	
3 内装計画		建物に求められる機能を明確にした内装計画		5.0	0.33		-	
1.3 維持管理				4.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い仕上げ、塗装を採用		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		物入、清掃用流しの設置		4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.31		-	2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.48		-	
1 耐震性				3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			2.4	0.19			
1	空調・換気設備		1.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	精密機械の設置位置を配慮、通信手段の多様化を図る	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.29			3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31			
1	階高のゆとり	階高(5700)の確保	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	形状・自由さの確保	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
LR1 エネルギー				0.40			3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		建築計画、空調調和設備、照明設備の省エネ化	5.0	0.30			5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=65.8%	5.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.8
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	緑地の散水に利用	4.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63			2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.21			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22			3.5
3.1	有害化学物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含まない	4.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避	ハロン消火剤は使用しない	3.3	0.68			
1	消火剤		4.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境				0.30			3.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に配慮	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33			3.1
2.1	大気汚染防止	大気汚染物質は発生しない	5.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	駐車スペースの確保及び導入路等配置の配慮	4.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制	廃品置場の設置	4.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	昼間照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			